






富山県SDGs宣言



富山交易株式会社はSDGsの達成のため、以下について取り組むことを宣言します。

当社は2022年に設立75周年を迎えます。セメント・コンクリート補修・リサイクル・機械・空調という5つの事業の展開を通じ『社会に「期待と信頼」を提供し、貢献する』という経営理念の具現化に向け邁進してきました。今後もSDGsという世界共通の目標達成に向け、微力ながら貢献できることを当社全体の喜びとし、日々活動を重ねて参ります。

No.	取組目標及び主な取組み	SDGsゴール
1	<p>【目標】 社会インフラの新設ではなく、補強・補修工事による持続性・経済効率性の向上のため、当社およびコンクリート補修事業の認知度を高めるとともに、小口PFIの円滑な運用等により、機動的かつ資金負担の軽い工事手法の導入・拡大を目指す。</p> <p>【主な取組み】 ①2023年度にコンクリート補修事業の年商300百万円達成を目指す ②2023年度には小口PFIによる工事を3件以上実施する</p>	 
2	<p>【目標】 火力発電所の石炭灰といった、処理の難しい産業廃棄物の再利用促進を継続・発展させる。</p> <p>【主な取組み】 ①新港火力灰については老朽化から落込みも予想されるが、七尾灰の取込みを実現させ現状の処理量を維持し、産業廃棄物抑制に引き続き貢献していく ②リサイクル品については、良さを更に知って頂き、各期50百万円以上の売上を目指していく</p>	
3	<p>【目標】 社員・その家族にとって「いい会社に勤めて良かった」と感じてもらえるよう、時流や社員の声などを的確に捉え、諸制度の整備・定着を進めていく</p> <p>【主な取組み】 ①育児休業制度、iDeCo+制度、時差出勤制度等をここ数年で新設したが、その利用促進を図っていく ②年3回の社員面接を中心に、社員の声が直接届くようにしてあることに加え、一層風通しの良い職場環境づくりに注力し、できることから着実に実施していく</p>	 

2021年 9月 10日

企業・団体名 富山交易株式会社

代表者名 代表取締役社長 遠藤忠洋